

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「サークルK サンクス、FF 強化型店舗 “晴海フロント店” オープン」
- 2) 「マクドナルド、原宿に国内最大店 7月にはカフェも」
- 3) 「福岡市、“飲む海水” 販売」

---

1) 「サークルK サンクス、FF 強化型店舗 “晴海フロント店” オープン」

サークルK サンクスは、シェリエドルチェカフェを併設したFF 強化型「サンクス晴海フロント店」を5月8日にオープンする。

同店舗は、新フォーマットのひとつであるカウンターフーズ中心にファーストフードを強化している「FF 強化型」店舗だ。通常店舗と同様の品揃えのほか、店内で作ったおむすびや手作り弁当なども提供する。

また、店内にはオリジナルデザート「シェリエドルチェ」の世界観をイメージし黒を基調としたシックで高級感のある『シェリエドルチェカフェ』を併設するほか、分けられた喫煙スペースも設置している。

その『シェリエドルチェカフェ』では、「シェリエドルチェ」専用の冷蔵ケースや本格コーヒーを提供するエスプレッソマシンを設置し、店内で調理するホットドッグやピッツァなど軽食もご用意して、落ち着いた雰囲気のエートインスペースを提供する。

コンビニの利便性を考えると、買ってすぐに食べられるエートインスペースはカフェよりも気軽に利用できそうだ。

合わせて自社商品のアピールにもつなげられる店づくりをしているので効果は高いと思う。スーパーなどでも、PBのスイーツやドリンクなどを提供するカフェスペースがあると消費者にとっても商品をより身近に感じられると思うので、是非増えて欲しいと思う。

---

2) 「マクドナルド、原宿に国内最大店 7月にはカフェも」

日本マクドナルドは29日、国内最大面積の「マクドナルド原宿表参道店」を東京・原宿にオープンした。

795平方メートルの店内に328席をゆったりと配置したほか、流行の発信地に集う買い物客を意識したデザインに統一した。7月にはコーヒーを入れる職人「バリスタ」を配置した「マックカフェ バイ バリスタ」を国内で初めて併設する。

同社はマックカフェ バイ バリスタの併設店舗を今後5年間で1000店規模に拡大する。原田泳幸会長兼社長は新たな店舗スタイルについて「バリスタの手作りでおいしいコーヒーを提供できる。ハンバーガーのお客さんにもなっただく相乗効果がある」と期待を込めた。

カフェに力を入れていたマクドナルドがバリスタを導入し、さらに本格的なコーヒーを提供することで、コーヒーの美味しいお店という印象が付けば客層も広がりそうだ。一方で、レギュラーコーヒーを100円に値下げするなど、マックならではのバリュー感も備えている。選択の幅が広がり、100円コーヒーをよりお得に感じられる仕組みだと思う。カフェに合わせたフードメニューを拡充すると、より足を運びきっかけになると思う。

---

### 3) 「福岡市、“飲む海水”販売」

福岡市は、玄界灘の海水を淡水化した飲料用ペットボトル「飲む海水-玄界灘の水」の販売を始める。27日から市役所1階ロビーで売り出し、売り上げの半分は植樹など水源地のかん養に役立てる。

同市東区にある福岡地区水道企業団の海水淡水化センターで海水を真水に変えて製造。センターは通常、淡水化した水と浄水場で処理した水とを混ぜて一般家庭に供給しているが、ボトルには淡水化したものだけを詰める。だしを使う日本料理やコーヒーなどに適しているという。

500ミリ・リットル入り、1本200円(税込み)。1本あたりの売り上げのうち100円を苗木購入に充て、福岡都市圏に水を供給している筑後川水系の地域などへの植樹を予定している。市水道局は「福岡市は水源に乏しく、淡水化施設があることや水の大切さを知ってもらえれば」と話している。

恥ずかしながら、これまで海水を淡水に変えて利用している地域があるということを知らなかった。このような人のためにはとても良いアピールなのではないかと思う。水資源が豊富な地域とそうでない地域で大きな差はあるが、乏しい地域では様々な工夫を行い水の確保に努めていることを知った。

日本全国どんな環境にあっても、蛇口をひねれば飲料水が出ることにますます感謝しなければと思った。